

1. 議題 「ケンカが少なく仲の良い学級にするためにできる活動を考えよう」

学級活動（1） ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2. 議題について

（1）児童の実態

（個人情報保護のため省略）

（2）議題選定の理由

学級会の議題決定は計画委員と担任が相談しながら、よりニーズの高いものを議題ボックスから選出している。その理由としては、自発的で自治的な活動にしたいからである。第2回学級会では、議題ボックスから「自分たちで静かになる方法を考えよう」という議題を選定し話し合ったところ、学級力向上アンケートとの結果と結びついていることを実感した。その気づきを基に第3回学級会の議題が選定された。これは、子どもたち自らが主体的に、学級力向上を目指そうとするものである。

（3）指導にあたって

司会グループは司会2名、黒板書記2名、ノート書記1名の5名で構成している。学級会を開くにあたって、自信をもって学級会の運営ができるように、議題や話合いのめあて・ポイントを、担任と相談しながら決定する。また、効率的な会の進行ができるようにするために、出た意見を事前にまとめたり、リハーサルを行ったりする。

話合いの場面では、「どんな工夫ができるか」についてしっかりと話し合うことができるようにするために、意見を出し合う場面では、あらかじめ短冊にしておいた意見を掲示しておく。全体の流れの中で、話合いのポイントからずれた時には、話合いのポイントを確認するように声をかける。また、板書が話合いの手立てとして有効活用できるように、ポイントだけ書くことができるように助言をする。全員が意見をもって話合いに参加できるように、事前に他の友達の意見やアクションカードを見せることで、意見を持ちにくい児童もその中から自分の考えに近いものを選ぶことができるようにする。

実践に向けて、活動のねらいからずれることなく、集団の課題意識を持ち続けながら、全員で役割分担をし、協力して活動までの準備をする。また、活動の終了後にはめあてに基づいた振り返りを行い、活動が学級力を向上させるものに結び付いていることを実感できるようにする。

3. 評価規準と目指す児童の姿（高学年）

観点	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 合意形成の手順や、深まりのある話合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しを持ったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。

<p>目指す児童の姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・役割や準備など、効率的な進め方を理解している。 (司会グループ) ・話合いの流れや、集団決定の在り方について理解している。 (司会グループ) ・活動の意義を理解し、その達成のために意見を考えることができる。(活動) 	<ul style="list-style-type: none"> ・司会グループとして、自分の役割を果たすように考えて行動している。(司会グループ) ・提案理由に沿って自分の考えを持ち、互いの考えを認め合いながら、よりよい解決方法や実践内容について話し合っている。 ・決定したことや工夫などについて、友達と協力して取り組んでいる。(活動) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会の計画や話合いカード作りに、見通しを持ちながら意欲的に取り組んでいる。 ・自分のよさを生かし役割に取り組んだり、友達と協働して取り組んだりし活動している。(活動)
----------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4. 事前の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】 <評価方法>
6月23日 (水) 学活	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会オリエンテーション ・アンケート結果からどの力を学級として特に高めていきたいか提案カードに書く。 (全員)【提案カード】 	<ul style="list-style-type: none"> ・議題選びの視点をもとに、選定することを指導する。 	
6月25日 (金) 朝活動	<ul style="list-style-type: none"> ・議題ポストの議題案を確認し、選定する。 (計画委員) 		
6月25日 (金) 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・議題を決定する。 (学級全員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員で選定した議題案をもとに、学級全員で決定する。 	
6月28日 (月) 朝活動	<ul style="list-style-type: none"> ・活動計画を作成する。 ・学級会の進行の仕方を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実態を踏まえ、日時や場所などの条件を「決まっていること」として設定する。 ・提案者の思いや願いが、学級全体の問題となるように、提案理由を明確にする。 	
6月28日 (月) 帰りの会 ～ 6月29日 (火) 朝の会	<ul style="list-style-type: none"> ・話合いカードに自分の考えを記入する。(学級全員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合うことや決まっていることが共通理解できるように、必要に応じて助言をする。 ・提案理由を踏まえた自分の考えを記入できるよう助言する。 ・話合いカードに自分の考えを書けずに困っている場合は、アクションカードを見せ、その中から 	◎議題の提案理由を理解し、その解決のために意見を考えている。 【知識・技能】 <話合いカード>

		自分の考えに近いものを選ぶことができるようにする。 ・学級会カードに励ましの言葉等を記入し、話し合いの意欲を高める。	
6月29日(火) 中間休み 昼休み	・話し合いカードに目を通し、書かれた意見を整理し、短冊に記入する。 ・タイムスケジュール板書計画を立て、話し合いの流れを確認する。 (司会グループ)	・出された意見から、話し合いの見通しが持てるように助言する。	◎計画を立てたり、短冊を作ったりしながら学級会の進め方に見通しをもちながら意欲的に取り組んでいる。 【主体的態度】 <観察・話し合いカード>

5. 本時の展開

(1) 本時のねらい

○ケンカを減らして、みんなが仲良くなる活動をするために、他の人の意見も自分の意見も大切にしながら、議題について考えることができる。

(2) 本時の展開

話し合いの順序	指導上の留意点	◎目指す児童の姿【観点】 <評価方法>
1 はじめの言葉 2 司会グループの自己紹介 3 議題の確認 4 提案理由や話し合いのめあての確認 5 決まっていることの確認 6 話し合い 話し合うこと① 「何をするか。」 話し合うこと② 「どんな工夫ができるか。」	・司会グループはめあてを言えるように、事前に準備しておく。 ・合意形成に最も大切なポイントを常に意識できるように確認する。 ・どんな話し合いをめざすのかについて伝え、目指す姿を明確にする。 ・提案理由や話し合いのポイントからずれている場合は、途中で声かけをする。 ・安易に多数決で決定しそうな場合は、必ず心配なことがないか声をかける。 ・小数意見であっても発言の機会をあたえ、価値づけることで安心して言えるようにする。	◎目指す児童の姿【観点】 <評価方法> ◎司会グループとして、自分の役割を果たすように考えて行動している。 【思考・判断・表現】 <観察> ◎提案理由に沿って、自分の考えを持ち、友達の意見も自分の意見も大事にしながらかし合っている。 【思考・表現・判断】 <観察・話し合いカード>

<p>話し合うこと③ 「どんな役割分担が必要か。」</p> <p>7 決まったことの発表</p> <p>8 話し合いの振り返り</p> <p>9 先生の話</p> <p>10 おわりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・折り合いをつけにくい場面では、提案理由やポイントに返ることで、意見を再度比べ合わせる。 ・時間があれば役割分担を決めるよう、司会グループに助言する。時間がなければ司会グループに後日提案させる。 ・話し合いの参加の仕方について振り返ることで、次回の話し合いに向けての参加への意欲を高める。 ・「①話し合いの仕方によかった点②次回に向けて頑張ってもらいたいこと③司会者へのねぎらい④実践にむけての意欲付け」について伝える。 	<p>◎次回の話し合いに向けて意欲的な感想を書いている。【主体的態度】 <話し合いカード></p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------

(3) 研究の視点

○提案理由やポイントを意識させたことは、合意形成に向けて話し合いを深めるために有効であったか。

6. 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】<評価方法>
7月5日(月) 朝の会	○役割分担を決める。(司会、あいさつ、ルール説明等)	・学級会で決まったことの要点をまとめて書くよう、計画委員に助言する。	◎決定したことや、工夫することを基に友達と協力して取り組んでいる。 【主体的態度】<観察>
7月6日(火) ～ 7月7日(水) 朝活動	○役割ごとに計画を立てて、協力して準備をする。 ○朝の会などで、決定したことをお知らせする。	・役割分担は必ず複数で構成し、全員で協力して活動できるようにする。 ・準備の進捗状況を途中で確認し、活動意欲の継続化を図る。	
7月12日(月)～ 朝の会	○学級会で決定した活動を行う。	・活動のねらいを確認し、協力して実践できるようにする。 ・協力したり工夫して活動したりしている児童を称賛し価値付ける。	

<p>7月19日(月) 学活</p>	<p>○一連の活動を振り返る。 第2回学級力向上アンケートの実施</p>	<p>・めあてに基づいて自分の態度を振り返り、自分の役割を果たすことや、友達のよかったところについても認められるように助言する。</p>	<p>◎みんなが仲良くなる活動の成果と課題を振り返り、自他のがんばりに気付いたり、次の活動に生かそうとしたりしている。【主体的態度】 〈振り返りカード・観察〉</p>
------------------------	------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------